

あすならホーム畝傍 看護多機能型ケアホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 9 月 19 日（金）10：30～10：50																				
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：3 名（民生委員長）（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター南エリア） 4. 職員：5 名																				
利用者登録状況 （9 月 15 日現在）	<看護多機能型ケアホームの登録者数> <table><tr><td></td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>9 月</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>6</td><td>7</td><td>23</td></tr></table> ※現在の登録人数は 23 平均介護度 3.43 泊り平均 7 通い平均 14.48								要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	9 月	3	4	3	6	7	23
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計															
9 月	3	4	3	6	7	23															
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 (1) サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家ででの閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 (1) 春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 4 回開催し、ご家族を含む 78 名の方が参加。 秋の学習会予定：10/30(木)、11/20(木)、11/29(土) (2) 福祉講演会 年 2 回 (3) 福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） (4) 買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 (5) ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。																				

	3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み (1) 地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日橿原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を計画中。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み 退院受け入れの報告。入院前まで歩行器を使用し歩行できていた A さん。 退院後も歩行器や自走式車椅子を使用して頂こうとしていたが、利用開始当初は起き上がりや移乗の際、職員に頼り切りになり歩行器での歩行が難しく、三角移乗も困難な日があり、食事が進まず。日々関わっていく中で介助時の声掛けや、ご本人の食べやすい食器や食事がわかってきました。その結果、移乗の際しっかりと立って足を動かしてくださるようになり、車椅子もご自身で自走、食事量についても以前より増加。今後もご本人の力を生かして過ごして頂けるよう関わっていきます。 (4) 金銭管理についてキャッシュレス化 10 月～プリペイドカード導入予定
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日地震を想定、3 月 11 日風水害を想定） (2) 消防避難訓練 年 2 回（6 月 17 日開催済。次回は 11 月 18 日を予定） (3) 秋のあすなら学習会 日程：10 月 30 日(木)、11 月 10 日(月)、11 月 29 日(土) 時間：10:30～12:00
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・同じ年代でのおでかけを企画してもらえたりと、日々楽しく過ごしています。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・介護申請など行政の手続きに時間がかかることによりサービスの利用開始が遅れることは、本人家族の負担も大きくなり地域で暮らし続けることが難しくなってしまうので行政の改善を期待したい。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※2025 年 6 月 25 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。※2025 年 8 月 27 日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2025 年 9 月 19 日現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2025 年 11 月 21 日（金）10:00～（場所：あすならホーム畝傍 サロン）

あすならホーム畝傍 看護多機能型ケアホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 7 月 18 日（金）11：20～12：00																
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：5 名（民生委員会長）（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター南エリア） 4. 職員：5 名																
利用者登録状況 （7 月 1 日現在）	<看護多機能型ケアホームの登録者数> <table><tr><td></td><td>要支援</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>7 月</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>8</td><td>19</td></tr></table> ※現在の登録人数は 19 名 平均介護度は 3.79 泊り平均 6.2 名 通い平均 10.97 名		要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	7 月	0	1	3	3	4	8	19
	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計										
7 月	0	1	3	3	4	8	19										
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家での閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 4 回開催し、ご家族を含む 78 名の方が参加。 （2）福祉講演会 年 2 回 （3）福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） （4）買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 （5）ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。																

	3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み (1) 地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日橿原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を計画中。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 6 月に 1 件 (3) 取り組み状況と今後の取り組み 6 月に看護多機能がオープンし、渡り廊下で行き来ができるように。しかし少し段差があり転倒骨折事故発生。早急に職員間で話し合い環境設定を改善。定期的に入院先に出向き様子確認。いつでも受入れ可能であることお伝えし早期の退院ができるよう働きかけています。 (4) 金銭管理についてキャッシュレス化を検討中 10 月～プリペイドカード導入予定
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日地震を想定、3 月 11 日風水害を想定） (2) 消防避難訓練 年 2 回（6 月 17 日開催済。次回は 11 月 18 日を予定） (3) 秋のあすなら学習会 日程：10 月 30 日(木)、11 月 10 日(月)、11 月 29 日(土) 時間：10:30～12:00
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・元気に楽しく過ごすことができている。いつもみんなで体操したり歌ったりしながら、からだを動かしている。たくさん歩くようにしている。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・前向きで明るいご利用者が多いと思う。交流の場として良い取り組みができていると思う。あすならの取り組みを広く発信してほしい。看護多機能型が他の市でも増えていくと良いと思う。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※2025 年 6 月 25 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。内容：「監視」と「見守り」の違いを理解し、適切なケアを継続する。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2025 年 7 月 18 日現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2025 年 9 月 19 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロン）